

5.6 証明書ストア登録ツール

証明書ストア登録ツールは、IC カードに格納されている証明書を Windows の証明書ストアに一括登録するためのツールです。

IC カード内の証明書が Windows 証明書ストアに未登録の場合、Microsoft Edge、または、Google Chrome で SSL クライアント認証を行う際、その証明書を選択できません(選択候補証明書リストに表示されません)。本ツールを用いて証明書の登録を行うことで、SSL(TLS)認証でその証明書を選択できるようになります。

！ 注意！

- 証明書の登録情報は Windows ユーザ毎に保存されますので、実際に IC カードをご使用になる Windows ユーザでログオンしてから本ツールで登録を行ってください。
- 有効期限切れ等により使用しなくなった証明書は、Windows 証明書ストアから手動で削除する必要があります。手順については「5.6.3 Windows 証明書ストアに格納されている証明書の削除」をご参照ください。
- Web サイト上の証明書発行サービスには、証明書の発行を行うと、発行した証明書を“自動的に”Windows 証明書ストアに登録する機能をもつものがあります。この場合、発行を行った Windows ユーザは、本ツールで証明書を新たに登録する必要はありません。証明書自動登録機能の有無については、各証明書発行サービスの説明書(マニュアル等)をご参照ください。

5.6.1 IC カードに格納された証明書の Windows 証明書ストアへの登録

IC カードに格納されている証明書を Windows 証明書ストアに登録します。

- ① IC カードを IC カードリーダーライターに挿入します。
- ② 「証明書ストア登録ツール」を起動してください。
- ③ IC カードのユーザ認証用の PIN(パスワード)入力画面が表示されます。IC カードに設定された PIN(パスワード)を入力して「OK」ボタンを押してください。PIN(パスワード)は 8 文字のみ入力できます。

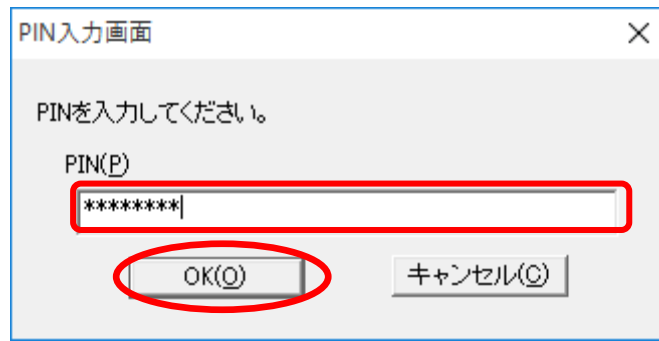


図 5-17 証明書ストア登録ツール画面(ユーザ認証)

- ④ 認証に成功すると以下の画面が表示され、IC カードに格納されている証明書を確認できます。ユーザの証明書内容をご確認ください。

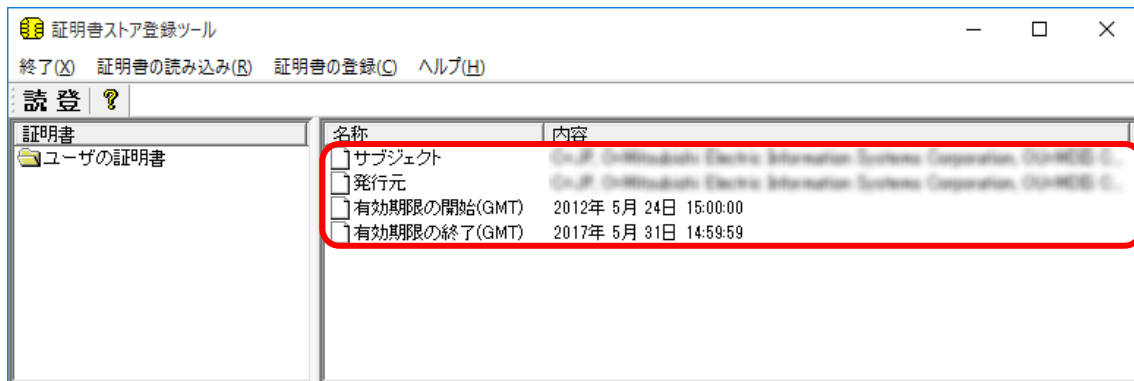


図 5-18 証明書ストア登録ツール画面(証明書の確認)

！ 注意！

PIN(パスワード)入力画面(図 5-17 証明書ストア登録ツール画面(ユーザ認証))で認証に失敗するか、IC カードが正しく挿入されていなかった場合、エラーメッセージが表示された後、証明書表示が空欄状態で表示されます(図 5-19)。

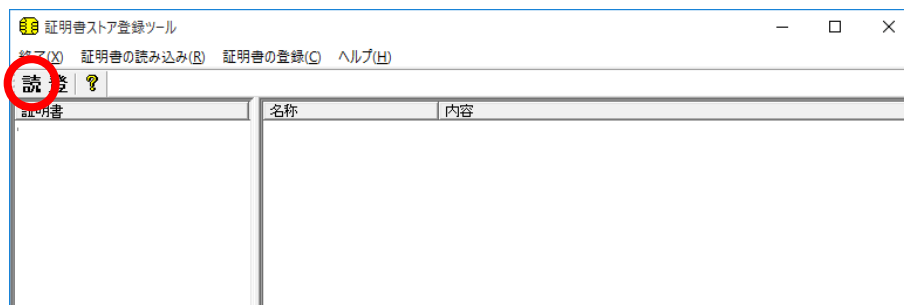


図 5-19 証明書ストア登録ツール画面(IC カード読み取り不可)

この場合は、IC カードを正しく挿入したことを確認後、「読」ボタンを押してください。PIN(パスワード)入力画面(図 5-17)が表示されますので、正しい PIN を入力してください。

- ⑤ 証明書内容を確認したら、「登」ボタンを押すか、または「証明書の登録」メニューから「証明書の登録」を選択してください。

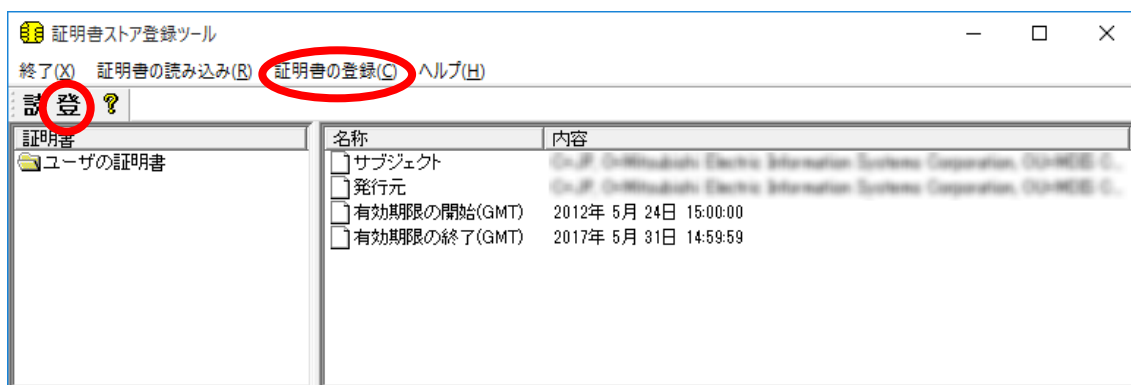


図 5-20 証明書ストア登録ツール画面(証明書の登録)

- ⑥ 登録が完了したことを示すメッセージが表示されますので、「OK」ボタンを押してください。これで Windows 証明書ストアへの証明書登録は完了です。

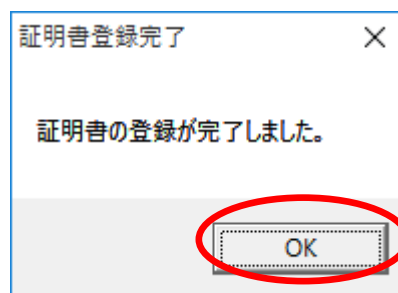


図 5-21 証明書ストア登録ツール画面(証明書登録完了)

- ⑦ 証明書ストア登録ツールを終了するときは、証明書ストア登録ツール画面(図 5-22 証明書ストア登録ツール画面(終了))の「終了」メニューから「証明書ストア登録ツールの終了」を選択してください。引き続き別の IC カードの証明書を登録するときは、⑧へ進んでください。

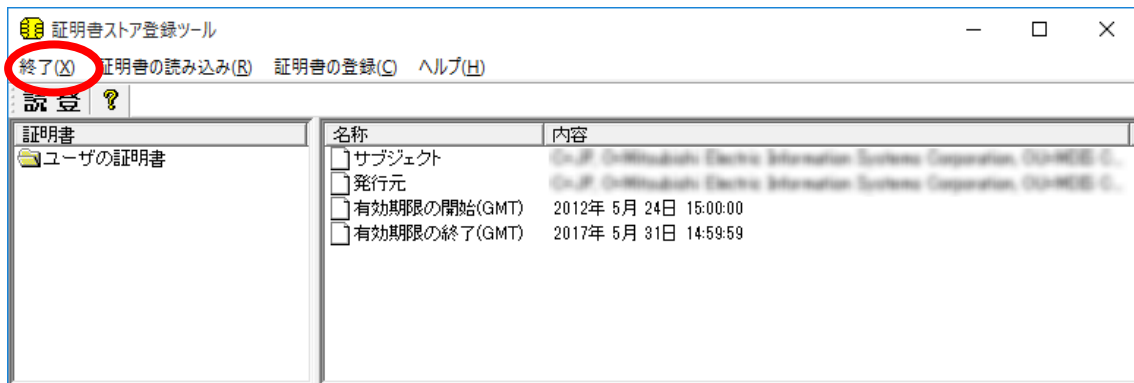


図 5-22 証明書ストア登録ツール画面(終了)

- ⑧ IC カードを差し替えてから証明書ストア登録ツール画面(図 5-23 証明書ストア登録ツール画面(証明書の読み込み))の「読」ボタンを押すか「証明書の読み込み」メニューから「証明書の読み込み」を選択してください。PIN(パスワード)入力画面が表示されますので、③～⑥の操作を繰り返してください。

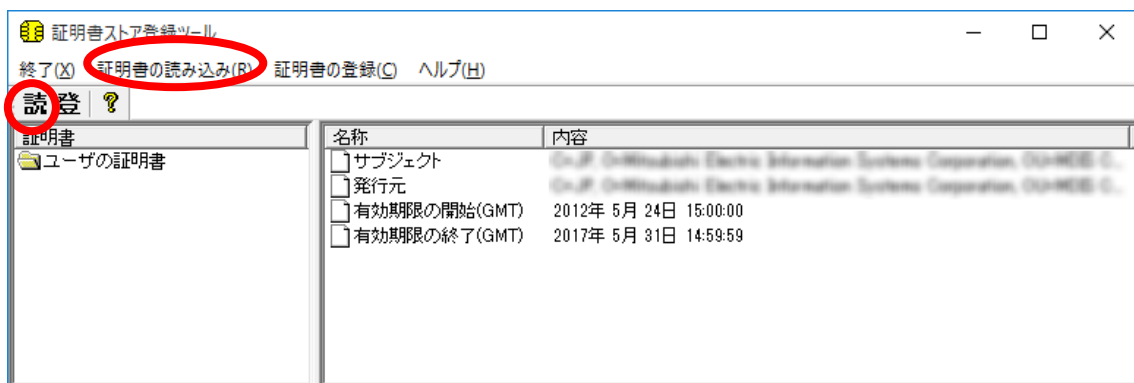


図 5-23 証明書ストア登録ツール画面(証明書の読み込み)